



加藤 元の



と暮らして
みませんか

23

犬は人間の子供と同様に、おもちゃで遊びながらさまざまなことを学び、身につけていきます。犬が自由にかんでよいものと、履物や敷物などの触ってはいけないものをわからせるためのしつけ、訓練のためにも遊び道具をそろえておくことが大切です。

おもちゃは、犬がかじっても壊れない、頑丈で安全、飲み込めないような大きさを、のどや食道に詰まったりしないものを選びます。病院、しつけ教室、インスタラクター、良いペットショップなどで選んでもらいましょう。

犬がひとり遊びできるおもちゃ

犬のおもちゃ

遊びの中でしつけ学ぶ

には、コングというゴム製で、中が空のパイナップル型のおもちゃや、ハローボーンと呼ばれる、骨そっくりで本物の骨より安全なおもちゃ、ローハイドチューと呼ばれる犬用のチューインガムなどがあります。

コングは、ボールのように跳ねますし、転がり方が愉快なので犬も楽しいうえに、歯石がつくのを防いでくれます。中が空になっているので、ドッグフードなどをここに詰めてやれば、犬を残して外出する場合、退屈を防ぐ効果も上がります。

ボールや引つ張りっこ遊び用のおもちゃ、音が出るおもちゃなどの、犬と飼い主と一緒に遊ぶためのおもちゃは、注目させるときや、しつけ訓練がうまくできたときや、よいご褒美になります。特にボール投げは、犬にとっては楽しい運動と気晴らし、学習のチャンスになります。また、多くの犬は、かむと音が出るおもちゃを喜びます。おもちゃは、飼い主と犬の心の架け橋になります。犬が大好きなおもちゃを持っている飼い主は、犬にとって魅力的な存在になります。犬が一番好きなおもちゃを知っておくことは、犬とつきあううえでとても大切です。

(ダクタリ動物病院広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長)

《産経新聞2004年9月12日掲載》